

2017年3月16日

スバル 運転支援システム「アイサイト」搭載モデルが 国内累計販売台数 50 万台を達成

富士重工業が販売する運転支援システム「アイサイト」搭載モデルの国内累計販売台数が、2017年2月に50万台を達成しました。2008年5月に日本で発売して以来、8年10か月での達成となります。

アイサイトは、世界で初めてステレオカメラのみで、自動車だけでなく歩行者、二輪車までも対象としたプリクラッシュブレーキや、全車速追従機能付クルーズコントロール等を実現したシステムです。

現在、アイサイト搭載車は日本をはじめ、豪州、北米、欧州、中国の各市場で販売しており、2016年11月には世界累計販売台数100万台を達成しました。今後もグローバル展開を順次拡大していきます。

アイサイトの予防安全性能については、アイサイトを搭載したスバル車が、米国でIIHS^{*1}（道路安全保険協会）による2017年安全評価の前面衝突予防性能試験において最高評価「Superior」を獲得。また、日本では国土交通省とNASVA^{*2}が実施する予防安全性能アセスメントにおいて最高評価であるJNCAP^{*3}「予防安全性能評価 ASV++」^{*4}に選定されています。さらに、欧州の新車評価基準であるユーロNCAP^{*5}における、2016年安全性能総合評価で最高評価のファイブスターを獲得するなど、第三者機関から高い評価を獲得しています。

スバルは、「ALL-AROUND SAFETY」の考え方のもと、0次安全・走行安全・予防安全・衝突安全の各技術を進化させ、お客様への「安心とゆしさ」の提供を追求し続けます。

*1: Insurance Institute for Highway Safety (米国保険業界の非営利団体)

*2: National Agency for Automotive Safety & Victims' Aid (独立行政法人 自動車事故対策機構)

*3: Japan New Car Assessment Program

*4: Advanced Safety Vehicle ++ 獲得車種: レガシィ、インプレッサ、フォレスター、WRX S4、レヴォーグ

*5: 欧州各国の交通関連当局などで構成された独立機関が1997年より実施している安全性能評価



アイサイト ステレオカメラ

車種別アイサイト搭載モデル
累計販売台数(2017年2月末時点)

	販売台数(台)	構成比
レガシィ	110,065	21.8%
インプレッサ	165,156	32.8%
フォレスター	107,837	21.4%
WRX	12,602	2.5%
レヴォーグ	87,187	17.3%
エクシーガ	21,017	4.2%
合計	503,864	